

# 1・22 教科書検定意見撤回を求める集会

## 「日本軍の強制」文科省はなぜ認めない！

### ★教科書検定問題の経過報告

石山久男さん（歴史教育者協議会委員長）

### ★教科書執筆者として

坂本 昇さん（都立高校教員）

### ★今回の訂正申請の問題点

林 博史さん（関東学院大学教授）

### ★学校現場から

平井美津子さん（大阪・中学校教員）

### ★大江・岩波沖縄戦裁判結審の報告

小牧 薫さん（大江健三郎・岩波書店沖縄戦裁判支援連絡会）

### ★「日本軍の強制」を認めない背景

俵 義文さん（子どもと教科書全国ネット21）

昨年12月26日、文部科学省は、沖縄戦記述に関する高校日本史教科書6社8点の訂正申請について、審議経過とその結果を発表しました。検定後の見本本の記述がある程度改善された面もありましたが、しかしながら承認された訂正申請文からは、日本軍が「集団自決」を強制したという趣旨の記述はすべて削除されました。文科省ならびに教科書検定審議会は、あくまでも検定意見は撤回しない態度をつらぬいています。これに対して沖縄では早速怒りの声があがり、12月27日には県庁前広場で抗議集会を開催、28日に9・29沖縄県民大会実行委員会は政府・文科省への要請書のなかで「『集団自決』の記述の中に『旧日本軍による強制』の語句を入れるとともに、検定意見を撤回されるよう、強く要請する」と述べ、1月15日には代表団が上京して政府に要請。「沖縄戦首都圏の会」も12月27日に文科省に「検定意見撤回」を要請しました。

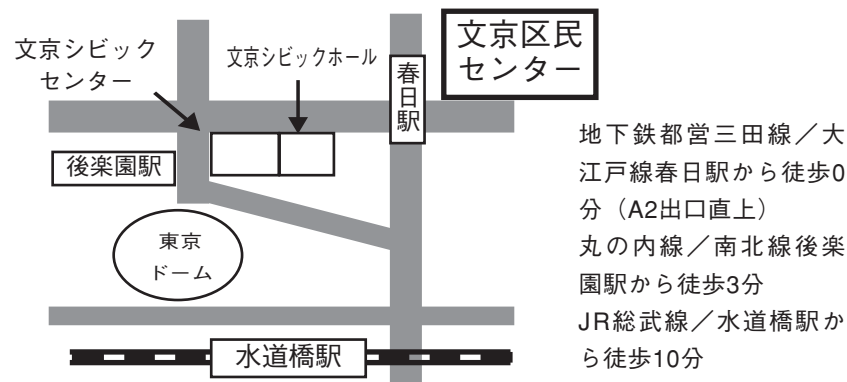
この集会では、今回の訂正申請に関して検定審議会への意見書を出された林博史さんに、軍の強制を認めなかった今回の訂正申請に対する決定、また検定がいかに関わっているかについて、意見書で主張されたこととお話しいたします。さらに、教科書執筆者から、教育現場から、昨年12月に結審し3月に判決を控えている「大江・岩波沖縄戦裁判」、「日本軍の強制」を認めない背景、などの報告もあります。ぜひ、ご参加下さい！

2008年 1月22日 (火)

開場：18時 開始：18時半 終了予定：21時

資料代：500円 ◆予約は不要です。当日会場に直接お越しください。

会場：文京区民センター 3階 3A会議室 (地図参照)



主催 大江・岩波沖縄戦裁判を支援し沖縄の真実を広める首都圏の会／大江健三郎・岩波書店沖縄戦裁判支援連絡会（大阪）／沖縄戦の歴史歪曲を許さず、沖縄から平和教育をすすめる会（沖縄）  
連絡先（首都圏の会）：〒101-0051 千代田区神田神保町3-2 サンライツビル7F 千代田区労協気付 TEL 03-3264-2905 FAX 03-3264-2906 <http://okinawasen.blogspot.com/>